

2021年度 第10回 WEBアンケート 調査報告書

1 「パラスポーツ」

総合政策部オリンピック・パラリンピック推進部
オリンピック・パラリンピック調整課

2 「科学都市ちば」

教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

3 「自転車の安全利用と交通ルール・マナー」

市民局市民自治推進部地域安全課

市民局市民自治推進部広報広聴課

目次

WEBアンケート調査結果

	ページ
・ 「パラスポーツ」 1
・ 「科学都市ちば」 3
・ 「自転車の安全利用と交通ルール・マナー」 4
・ その他 7

回答者属性

回答者数	1,040人
------	--------

性別		
男性	492	47.3%
女性	527	50.7%
その他	6	0.6%
未回答	15	1.4%

職業		
会社員	365	35.1%
自営・自由業	44	4.2%
パート・アルバイト	173	16.6%
公務員	55	5.3%
学生	44	4.2%
専業主婦・主夫	173	16.6%
無職	154	14.8%
その他	32	3.1%

年代		
10代以下	35	3.4%
20代	38	3.7%
30代	135	13.0%
40代	242	23.3%
50代	279	26.8%
60代	161	15.5%
70代以上	150	14.4%

居住区		
中央区	197	18.9%
花見川区	160	15.4%
稲毛区	154	14.8%
若葉区	115	11.1%
緑区	134	12.9%
美浜区	240	23.1%
市内在勤・在学	40	3.8%

令和3年度 第10回

調査名	「パラスポーツ」「科学都市ちば」「自転車の安全利用と交通ルール・マナー」
調査期間	2021年12月28日(火)午前9時～2022年1月10日(月)午後5時
回答者数	1,040人

概要:

<p>「パラスポーツ」 本市では、障害のある人もない人も、スポーツを通してともに交流できるまちづくりを進めています。パラスポーツに関する意識を把握し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>「科学都市ちば」 科学※に対するイメージや認知度、各種イベントの参加状況などをお聞かせいただき、「科学都市ちば」の実現に向けた参考とさせていただきます。 ※学問としての科学のほか、最先端技術や生命、自然、環境など、生活の中で広く活用させている取組み全般を指します。</p> <p>「自転車の安全利用と交通ルール・マナー」 自転車の安全利用や、交通ルール・マナーについての考えをお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

参考URL

https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/opsuishin/opchousei/parasports.html
https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/scienceeducation.html
https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/chiikianzen/jitensyakoutuanzen.html

Q1:

はじめに、「パラスポーツ」についてお聞きします。
パラスポーツ大会(パラリンピックを含みます)を観戦したことがありますか。
(1つだけ)(入力必須) [n=1,040]

会場で観戦したことがあり、テレビやインターネット配信等でも観戦したことがある	81	7.8%
会場で観戦したことがある	34	3.3%
テレビやインターネット配信等で観戦したことがある	632	60.8%
ない	293	28.2%

Q2:

どのようなきっかけで、パラスポーツ大会を観戦しましたか。または、観戦してみたいと思いませんか。
(いくつでも)(入力必須) [n=1,040]

テレビやインターネット配信があった(ある)	546	52.5%
無料で観戦できた(できる)	255	24.5%
大会が身近な会場で開催された(される)	213	20.5%
大会に関する情報が事前に入手できた(できる)	158	15.2%
ルールや解説などの実況中継があった(ある)	138	13.3%
きっかけを覚えていない、特に理由はない	99	9.5%
家族や友人、知人に誘われた(誘われる)	79	7.6%
パラスポーツの体験会などに参加できた(できる)	79	7.6%
職場や学校などで誘われた(誘われる)	55	5.3%
パラアスリートと交流できた(できる)	49	4.7%
大会と同時開催のイベントなどに参加できた(できる)	31	3.0%
その他()※100字以内	41	3.9%
観戦してみたいとは思わない	130	12.5%

- Q3: パラスポーツに興味・関心はありますか。
(1つだけ)(入力必須) [n=1,040]
- | | | |
|-----------------|-----|-------|
| ある | 149 | 14.3% |
| どちらかといえばある | 405 | 38.9% |
| どちらともいえない →Q5へ | 227 | 21.8% |
| どちらかといえはない →Q5へ | 124 | 11.9% |
| ない →Q5へ | 135 | 13.0% |
- Q4: パラスポーツに興味・関心をもったきっかけは何ですか。
(3つまで)(入力必須) [n=554]
- | | | |
|------------------------------------|-----|-------|
| テレビ、新聞、インターネットなどでパラスポーツのニュース、記事を見た | 335 | 60.5% |
| 会場やテレビ、インターネット配信等で大会を観戦した | 263 | 47.5% |
| スポーツ自体に興味がある | 123 | 22.2% |
| 体験会などのイベントに参加した | 58 | 10.5% |
| 家族や友人、知人から話を聞いた | 55 | 9.9% |
| 身近に障害のある人がいる | 53 | 9.6% |
| 職場や学校でパラスポーツを体験、学習した | 52 | 9.4% |
| 身近にパラスポーツに関わっている人がいる | 37 | 6.7% |
| 特になし | 4 | 0.7% |
- Q5: 2021年9月に東京2020パラリンピックが開催されました。2013年に開催が決定してから現在まで、障害のある人に対する理解がどのように変わっていると感じますか。
(1つだけ)(入力必須) [n=1,040]
- | | | |
|---------|-----|-------|
| 良くなった | 219 | 21.1% |
| 少し良くなった | 398 | 38.3% |
| 変わっていない | 349 | 33.6% |
| 少し悪くなった | 5 | 0.5% |
| 悪くなった | 2 | 0.2% |
| わからない | 67 | 6.4% |
- Q6: 障害のある人もない人も共にスポーツを楽しむためには、どのような取組みがあるかと思えますか。
(いくつでも)(入力必須) [n=1,040]
- | | | |
|--------------------------------|-----|-------|
| 身近な会場で障害のある人もない人も一緒に大会を観戦できる | 519 | 49.9% |
| 地域で開催される運動会等の行事にパラスポーツを取り入れる | 454 | 43.7% |
| パラアスリートによる講話、実技披露の実施 | 222 | 21.3% |
| パラスポーツの体験会の実施 | 373 | 35.9% |
| 障害のある人もない人も一緒に参加できる大会やイベント等の開催 | 528 | 50.8% |
| 一般のマラソン大会等における障害者部門の設置 | 169 | 16.3% |
| パラスポーツを指導できる人材の育成 | 210 | 20.2% |
| その他()※200字以内 | 43 | 4.1% |
- Q7: パラリンピックのほかにも障害のある選手が出場する国際大会として、スペシャルオリンピック※1やデフリンピック※2がありますが、これらの大会を知っていましたか。
※1知的障害のある選手が出場する、オリンピックに準じた競技種目の国際大会で、4年に1度開催される。
※2聴覚障害のある選手が出場する、オリンピックに準じた競技種目の国際大会で、4年に1度開催される。
(1つだけ)(入力必須) [n=1,040]
- | | | |
|-------------------|-----|-------|
| 両方とも知っていた | 138 | 13.3% |
| スペシャルオリンピックを知っていた | 66 | 6.3% |
| デフリンピックを知っていた | 118 | 11.3% |
| 両方とも知らなかった | 718 | 69.0% |

- Q8: 次に、「科学都市ちば」についてお聞きます。
本市では、産業界、大学などの研究機関、市民団体などが連携を深め、人材の輩出や産業・技術の振興などを行い、未来に希望を持てるまちづくりとして「科学都市ちば」を目指していますが、この取組みを知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,040]	
知っていた(内容も知っていた)	153	14.7%
知っていた(内容は知らなかった)	269	25.9%
知らなかった	618	59.4%

- Q9: 千葉市科学館に行ったことがありますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,040]	
ある →Q11へ	690	66.3%
ない	350	33.7%

- Q10: 千葉市科学館に行ったことがない理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須)	[n=350]	
行くきっかけがない	208	59.4%
場所がわからない	79	22.6%
千葉市科学館を知らない	64	18.3%
子ども向けの施設だと思う	47	13.4%
場所が不便	42	12.0%
時間がない	38	10.9%
駐車場が有料	32	9.1%
料金が安い	21	6.0%
科学に興味がない	20	5.7%
子どもがまだ小さい	15	4.3%
展示物に魅力がない	9	2.6%
プラネタリウムの番組に魅力がない	5	1.4%
その他	9	2.6%

- Q11: 本市では、「科学都市ちば」の一環として「科学フェスタ2021※」を開催しましたが、この祭典を知っていましたか。
※日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる総合的な科学の祭典。今年度は令和3年10月9日(土)、10日(日)にきぼーるでメインイベントを開催し、科学体験ブース、実験・工作教室、科学館無料開放などを実施。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,040]	
知っていた(内容も知っていた)	143	13.8%
知っていた(内容は知らなかった) →Q14へ	145	13.9%
知らなかった →Q14へ	752	72.3%

- Q12: 「科学フェスタ2021」の10月9日、10日に科学館で実施したメインイベントに参加しましたか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=143]	
参加した →Q14へ	16	11.2%
参加しなかった	127	88.8%

Q13: 参加しなかった理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=127]		
場所が不便	8	6.3%
時間がなかった	43	33.9%
行くきっかけがなかった	22	17.3%
子どもがまだ小さい	7	5.5%
駐車場が有料	13	10.2%
科学に興味がない	2	1.6%
開催日時などを知らなかった	7	5.5%
おもしろいイベントがなかった	4	3.1%
子ども向けのイベントだと思った	12	9.4%
都合が合わなかった	45	35.4%
内容が難しそうだった	2	1.6%
混雑していそうだった	29	22.8%
感染症予防	35	27.6%
整理券の配付が終わっていた、事前申込の人数がいっぱいだった	10	7.9%
その他	5	3.9%

Q14: 科学に関することで、本市に期待するものは何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,040]		
子どもの科学への興味を高める	661	63.6%
環境問題への取組み	478	46.0%
産業振興への支援(先端技術開発 など)	406	39.0%
学校教育における科学分野の充実	400	38.5%
科学の学習機会充実(市民向けの講座 など)	378	36.3%
科学館の展示物の充実	278	26.7%
大学や企業との共同研究	274	26.3%
企業・研究機関の取組みの紹介	233	22.4%
その他() ※50字以内	10	1.0%
特になし	43	4.1%

Q15、16: 最後に、「自転車の安全利用と交通ルール・マナー」についてお聞きします。
 自転車を利用しているあなたの世帯の年代と人数を教えてください。また、ヘルメットを着用していない人数を教えてください。

※なお、上記の回答結果から、ヘルメット装着率を算出し掲載しています。(入力必須)

ヘルメット装着率 [n=743]			
年代	自転車利用人数	ヘルメット未着用人数	ヘルメット着用率
就学前児	88	52	40.9%
小学生	187	116	38.0%
中学生・高校生(19歳未満)	164	127	22.6%
19歳以上30歳未満	128	112	12.5%
30歳以上65歳未満	854	640	25.1%
65歳以上	267	232	13.1%
合計	1,688	1,279	24.2%

※自転車世帯全員自転車を利用していない297人を除く

Q17: あなたが自転車に乗る際、守っている交通ルールやマナーは何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=743]

信号を守る	607	81.7%
スマートフォン等を操作しながら運転しない	595	80.1%
歩道を通行するときは、歩行者を優先し、その安全を確保する	571	76.9%
飲酒運転はしない	555	74.7%
二人乗りはしない	546	73.5%
イヤホン・ヘッドホンを使いながら運転しない	539	72.5%
傘を差しながら運転しない	512	68.9%
早めにライトを点灯する	504	67.8%
車道の左側を通行する(逆走をしない)	471	63.4%
並走しない	468	63.0%
原則として車道を通行する(歩道を通行しない)	334	45.0%
ヘルメットを着用する(年齢に関わらず、市条例で努力義務)	52	7.0%
特になし	5	0.7%
自転車に乗らない →Q19へ	58	7.8%

Q18: 自転車に乗る際の交通ルールやマナーを守っていますか。また、守っていない場合は、その主な理由にチェックしてください。

(2つまで)(入力必須) [n=685]

守っている	536	78.2%
守っていない(交通ルールやマナーを知っているが、事故の危険がないと思うから)	40	5.8%
守っていない(交通ルールやマナーを知っているが、急いでいたから)	33	4.8%
守っていない(交通ルールやマナーの内容を知らなかったから(Q17参照))	29	4.2%
守っていない(交通ルールやマナーを知っているが、警察からの取締りや注意を受けたことがないから)	28	4.1%
守っていない(交通ルールやマナーを知っているが、他の人も守っていないから)	27	3.9%
その他()※50字以内	43	6.3%

Q19: あなたは、「歩きスマホ※」をすることがありますか。また、「歩きスマホ」の危険性をどのように考えていますか。
※歩きながらスマートフォン等を操作したり、見たりすること

(1つだけ)(入力必須) [n=1,040]

よくする(危険だと思う)	40	3.8%
よくする(危険だと思わない)	3	0.3%
時々する(危険だと思う)	223	21.4%
時々する(危険だと思わない)	21	2.0%
めったにしない(危険だと思う)	287	27.6%
めったにしない(危険だと思わない)	11	1.1%
全くしない(危険だと思う) →Q21へ	399	38.4%
全くしない(危険だと思わない) →Q21へ	15	1.4%
スマートフォン(携帯電話)を持っていない →Q21へ	41	3.9%

Q20: 「歩きスマホ」ではどのような操作等をしていますか。

(いくつでも)(入力必須)		[n=585]	
地図を見る	440	75.2%	
メールやSNSの操作をする	252	43.1%	
時刻表を見る	208	35.6%	
通話をする	180	30.8%	
音楽の視聴操作をする	52	8.9%	
ゲーム操作をする	50	8.5%	
動画を閲覧する	13	2.2%	
その他()※30字以内	24	4.1%	

Q21: 自転車に乗る方や歩行者に、交通ルールやマナーを守ってもらうために、どんな手段が特に効果的だと思いますか。

(3つまで)(入力必須)		[n=1,040]	
警察による交通違反取締りや注意の強化	479	46.1%	
法改正(交通違反の厳罰化など)	467	44.9%	
道路環境の整備(自転車レーンや歩道など)	447	43.0%	
学校での交通安全教育	368	35.4%	
路上での交通安全指導の強化	342	32.9%	
テレビやラジオによる交通安全についての啓発	153	14.7%	
職場などでの交通安全教育や啓発	82	7.9%	
市民が集まる場所やイベントなどでの交通安全についての啓発	82	7.9%	
SNS(Twitter、Facebook、LINE、など)による交通安全についての啓発	79	7.6%	
地域での交通安全に理解のある人材の育成(「自転車リーダー」など)	19	1.8%	
ホームページによる交通安全についての啓発	19	1.8%	
その他()※50字以内	47	4.5%	

その他

Q2: どのようなきっかけで、パラスポーツ大会を観戦しましたか。または、観戦してみたいと思いますか。

【その他（41件）】

・ 観戦したいと思うが、感染が落ち着いていないので観戦の経験はない。また、テレビでの放送もない。
・ ボランティア活動で、レフェリーと選手との間の通訳を担当したので、目の前で見ることができた。
・ TVなどでパラスポーツの特集があり、内容や試合のポイントなどを事前知ることが出来たから。
・ パラリンピックのチケットがとれたので、観戦したいと思ったが、結局コロナで行けなかった。
・ ハーフタイムでデモンストレーションでデフフットサルと車いすバスケットを観て興味を持った。
・ たまたま体育館へ行って、何をやっているのか覗いたら車椅子バスケットが開催されていた。
・ 小和田圭吾というミュージシャンの報道で、パラ、Olympicはみていません。
・ 子供に観戦させる事で、社会に対する視野を広げさせ、成長に繋げたい。
・ パラスポーツに興味があったので。(特にボッチャとゴールボール)
・ 自分が行っていたところに、たまたま練習しにきてくれた。
・ 東京オリンピックパラリンピックをテレビで観戦していた。
・ 会社の社員でパラリンピックに出場した事がきっかけ。
・ ボランティアとして参加した時に休憩時間に観戦した。
・ 「新しい地図」のイベントで知るようになりました。
・ 子供が学校で体験して、観戦したいと希望したから。
・ 観戦したことはないし観戦してみたいとは思わない。
・ 「新しい地図」の皆さんが興味を持たせてくれた。
・ パラ独特な種類や取り組み姿勢に惹かれて観た。
・ 井上雄彦氏の『リアル』を読んで関心をもった。
・ 以前、関係していたことから関心が高かった。
・ 東京オリンピックがあつて、身近に感じた。
・ オリパラの時、ボッチャをテレビで見て。
・ 子供がパラリンピックを見に行ったから。
・ 時間に余裕がなくて観戦したことがない。
・ 子供が学校でパラ選手と交流会をした。
・ パラリンピックのボランティアをやった
・ 東京2020ボランティアにて。
・ 選手、競技に感心があったので。
・ 娘がパラスポーツを始めたから。
・ テレビで、盛り上がっていた。

・ パラスポーツボランティア。
・ 知人が選手で出ていたから。
・ 障害のある家族がいる。
・ コロナが落ち着いたら。
・ 身内が障害者だから。
・ 東京パラリンピック。
・ オリンピックで観た。
・ 観戦していない。
・ 機会があれば。
・ 機会がない。
・ 放映がない。

Q6: 障害のある人もない人も共にスポーツを楽しむためには、どのような取り組みがあるとよいと思いますか。

【その他（43件）】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 先日パラスポーツの体験に参加しました。我が家に障害児(5歳、重度知的障害)がいるからです。参加して思ったことは、障害者、障害児の体験者がとても少なかったことです。ほぼ健常児で、パラスポーツを知ってもらうにはいいとは思いましたが、やはりパラスポーツは障害をもつ者がやるスポーツであるので、障害児者の体験者が少ないことにとても残念に感じました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある人がスポーツに取り組める環境整備。現在は、特に身体能力の高いパラリアンでなければ気軽にパラスポーツに取り組めない。障害者が趣味のレベルで参加できることが必要。そのためには環境(場所、機会と障害に応じた適切な指導)が重要と考えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害がある方が常日頃から周りにいて、障害があることをあまり特別視しない環境や意識があることが、必要かと思います。ですが、それとパラスポーツの普及との兼ね合いまでは、考えが至りません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ わからない。障害がある方の気持ちがわからないので、健常者が想像している気持ち、やってあげている感が出ている気がするので、よくわかりません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ パラアスリートの陰の努力や支援、協力のドキュメンタリー番組を、幅広い世代のより多くの人が見たい構成で放送する。明るく元気になるような。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各パラスポーツを1競技として認識できるようにする。東京で前進したなあと感じたのは、報道面で頑張っていたこと。スポーツ枠で報道されていた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツだけでなく、仕事や普段の生活、交通機関などのバリアフリー化を進めて、健常者/障害者の間に差別が無くなるようにした方が良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ハーモニープラザにプールがある様だが、知的ハンデ身体ハンデのある方しか利用出来ない。そうやって分ける事に問題があるのではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害とは……？どんな障害があっても、なくても、スポーツって大事では？無駄な税金はどうか使わないでいただきたいです
<ul style="list-style-type: none"> ・ パラスポーツ施設拡充(現行健常者施設の改修含む)。ロケーションは参加者安全かつ容易にアクセスできること。

<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティセンターなどの公共施設でも毎週1度など、日時を決めて、パラの活動できる場所を身近に感じたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを楽しむのは個人的な自由と裁量に任されていることで、社会的に何らか取り組みが必要とは考えない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 収益性があり、寄付やボランティアに頼らず持続的に活動でき、エンターテインメントとして楽しめること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 勝ち負けに拘るスポーツが本当に障害者に役立っているだろうか。その分の税金でもっとやるべき事がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だよりを良く読みますが、パラスポーツイベントを各区でやってほしいです。若葉区でも。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生のうちに授業や学校行事を通して交流をもてる機会があればいいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会・行事実施以前に障がい、多様性、共生などに関する理解等の啓発・教育が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の部活動で、パラスポーツの審判やボランティアなどに参加する機会を作る。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある方たちが安定した生活を送れるようにスポーツより先に考えるべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・ パラスポーツのリーグ化。好きな選手、チームを応援できる環境の整備。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期、小学校などの早い段階でその機会に触れられると良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さい子向けのイベント、子供も親も学べるようなもの。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者への偏見を無くす。理解できる方法を啓発する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神疾患は対象外になっているので、考えが及ばない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会とかではなく、普段の生活の中で楽しめば足りる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ パラスポーツの試合を誘致して観覧機会を増やす。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある人に行きやすく、過ごしやすい会場。
<ul style="list-style-type: none"> ・ そもそもパラと言っていることが差別？ 区別？
<ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリーの施設交通の充実が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ パラだけを特別視しない空気を育てる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 見せ者ではないので、普通に皆一緒に。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障害ガイドや補助者の育成。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済安定、保険料負担軽減。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に取り組む必要が無い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ご自由におやり下さい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ あまり必要と思わない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 疑似体験をする場所。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染が早く落ち着く。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ハンデ制の導入。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールの見直し。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心がない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に無し。

- ・ 争わない。

Q14: 科学に関することで、本市に期待するものは何ですか。

【その他（10件）】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学都市を模索するよりも、もっと千葉ならではの、古来からの伝統を充実したほうが、地方色が出ていい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ きぼーるに人がくるのを待つのではなく、きぼーる側からの働きかけが少し欲しいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「科学都市ちば」の子供達だからこそ体験できる何かを学校等で取り入れて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ことし動物公園が講演会を配信してくださった。科学フェスタもお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学とエセ科学の違いの啓蒙。クリーン電源としての原発の推進。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学に興味を持っていないので、期待も何もありません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 成人が学び楽しめる生涯学習の機会。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同研究には高校も加えるべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の研究所の誘致。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生への支援。

Q18: 自転車に乗る際の交通ルールやマナーを守っていますか。また、守っていない場合は、その主な理由にチェックしてください。

【その他（43件）】

<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルメットは着用していない。(4件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルメット着用は認識してあるものの外出先での取り扱いが困難のため帽子で代用が多い。駐輪場ロッカー希望。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道の縁を行くと凸凹していたり側溝の蓋が滑りやすかったり危ないので、歩道が広い時は走行する事が多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルメットや傘さしなどは守っていない。他は守っている。自転車は手ごろな乗り物で手間が多いと乗らない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車は千葉市が薦めているレンタルサイクルを利用しているが、その場合ヘルメットがないため。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道は交通量が多く危険。歩道が広いので、歩行者の通行の妨げにならないよう気を付けて走行している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ライト点灯が必要な時間帯には自転車に乗らない。ヘルメットは着用している人がほとんどいないので。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の歩道や横断歩道走行についてファジーな部分が多いので、意図せずにルール違反を犯している？
<ul style="list-style-type: none"> ・ ルール、マナー知っているが道路整備、走行自動車、歩行者のマナーと相違がある。要ルール見直し。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルメットをかぶるべきだと思うができていない。傘をさして片手で運転せざるえない場合がある。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道を走るのは怖い。自転車レーンも狭い、車道の中に自転車レーンがあるようなところもある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車が歩道を走行してはいけないことは知っていますが、近所の車道は危険すぎて走れません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 減多に乗らないが乗るときには完全ルール遵守出来ていないのは確かだ。ヘルメットは無着用。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ守っているが、雨の日に傘をさす。ヘルメットを着用しない。理由は電車に乗る時に不便。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道通行ルールは専用レーンをガードレールつきで設けない限り、自動車にとって危険。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 守っていると思うが、新しいものなど、知らないルールやマナーもあるかもしれない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通量の多い車道での通行は恐怖を感じるため自転車レーンを走らないことが多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ守っていると思うが、車両と同じように完全に左通行は無理だと感じている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ママチャリで近所に買い物等にしか利用しないので、ヘルメットは持っていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道が狭く車道を走ると、車が近く危険を感じる場合のみ歩道を走ってしまう。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道と車道を切り替えた際の交通ルールが把握し切れていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供と一緒に自転車で移動する時に車道は危なくて走れない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道を走行すると危険な事が多いので歩道を走行している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道が整備されていないため、交通ルール通りに走れない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道が怖い。落ち葉バイクステップガラスの破片など。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 守ることで逆に事故の危険にあう場合があるから。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道が整備されておらず、そうせざるを得ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知って入るが実用上困難なケースもある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉市にきてから自転車に乗っていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ どちらとも言えない。ケースバイケース。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全運転。けど、よく分かっていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己責任で安全を確認して乗っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供に車道を走らせるのは怖い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部守られていない部分もある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールを守った方が危険だから。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の車道通行はこわい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルメットの用意をする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 守っていない。つつい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道が狭すぎる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部守っている。

Q20: 「歩きスマホ」ではどのような操作等をしていますか。

【その他 (24件)】

・ 地図アプリを使いますが必ず立ち止まって確認する様にしている。
・ ウォーキングアプリの起動。位置情報サービスのON/OFF。
・ 行こうとするコンビニやショップのアプリ操作。
・ 着信音があった時、立ち止まって確認のみ行う。
・ 何の通知かを確認するだけ、内容は見ない。
・ 千葉県ウォーキング促進月間イベント参加。
・ スマートフォンからの通知を確認する。
・ ウォーキングポイントの操作。
・ 予定・メモをチェックする。
・ 着信・通知等の概要確認。
・ スマホのライト使用。
・ 緊急連絡の有無確認。
・ 時間や天気を見る。
・ 買い物メモを見る。
・ 歩くアプリの操作。
・ 調べ物。ニュース。
・ 歩数アプリを使う。
・ その他の調べ物。
・ 外国語学習。
・ 時間の確認。
・ 時刻をみる。
・ 調べごと。
・ 歩数確認。
・ 検索。

Q21: 自転車に乗る方や歩行者に、交通ルールやマナーを守ってもらうために、どんな手段が特に効果的だと思いますか。

【その他 (47件)】

・ 多言語での啓発。自転車の逆走暴走、利用者が話しているのは外国語。マナー知らずに“違反”していることも。
・ 車道左側の自転車通行帯、逆に大変危険。自転車利用時も車利用時も冷や冷や。エコな自転車もっと守るべき。
・ 研修を受けないと乗車できないようにする。免許のようなものを作り、数年毎に研修を受ける制度をつくる。

<ul style="list-style-type: none"> ・ ベイタウンに住んでいますが路駐が多すぎます。自転車で歩道を走らざるを得ないので何とかしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の交通ルールやマナーを知らない人もまだまだ多いのもっと広く分かりやすく、広報してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園の送り迎えの保護者のマナーが悪い。スピードを出し、横に並んでおしゃべりしながら歩道で走行等。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の目線になって「人からしてほしいと思うことを人にもする」という事が自分も出来たら良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校でも交通安全協議会などがありますが、開催しているだけで、地域の方に伝わっていると思えない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティセンターなどで、常時自転車の安全運転講習会を実施する。気楽に参加できる環境を作る。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「歩道では自転車は押して歩くように」との立て看板の整備。それがあると一般の人にも注意しやすい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車が走ってもいい歩道を多くする。車道に狭い自転車レーンがある以上そちらでは走りたくない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が多く傍若無人な運転が目立ちます。町内会や回覧板など、目に触れやすいツールで情報提供。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国出張時、当地では歩行者の信号無視や横断歩道以外での横断等を取り締まり、反則金を払います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察が持っている交通違反の厳罰が書いてある紙を、学校や職場、駐輪場の利用者に配布する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一方通行などを取り入れて自転車道を確認すべき。実行できないような法律を作成しても無駄。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私を含めて、大人が守っていないと思う。20代と60代以上。子供と親世代は守っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車レーンの適正な設置。通行が危険な場所は歩道に避難させて(柏台小学校北付近等)。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 回覧板による自転車交通ルール周知(高齢者や主婦の自転車右側通行をよく見かける為)。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自歩道、歩道、公園内等で右側通行を強行する自転車が多い。看板やペイント等で明示要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者は自転車で歩道を利用して良いことになっているのをもっと周知させて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 盗難防止登録時、マナーやルール、罰則の簡単な試験をアプリで受けてシールを発行。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講習受講の義務化。運転免許を持たない人に交通ルールを知る機会を与えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 路上駐車を取り締まり。自転車用の所や、路肩に長時間止まっている車が多すぎる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車のみ乗る人は車の動きを知らないので、自転車も講習を受けるべきだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車等軽車両での歩道走行は違法だが認知度が低いので、道路標識の設置が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 罰金制度にすべき。やる人の多くは罰金無しではいくら注意してもやめない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各世代がアクセスしやすいそれぞれの方法、媒体の活用が必要。学校含む！
<ul style="list-style-type: none"> ・ 横断歩道を歩きスマホ禁止。自転車スマホ禁止(厳重注意すること)。
<ul style="list-style-type: none"> ・ TVCM、You Tube広告で自転車も車と同じルールと教える。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 車道を走行する為、自動車運転者側の協力も必要になると思います。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車が不要なくらい、本数が多く、安価な交通インフラの整備。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ウォーキングをする際どちら側を歩いていいかか教えて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者に迷惑や恐怖感, 危害を与えない人格を育成する教育。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車は免許制にしていかなないと事故がますます増える。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の整備。歩道、自転車が通れる側道などの設置。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者が飛び出しても車が悪い、という法律的撤廃。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 厳罰化では改善できない。ルールの変更が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車専用通路を増やし標識・標示を整備。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に高校生が朝飛ばしていてとても危険。
<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは警察がルールを守ること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車用ヘルメットの啓発。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者向けの講習会は必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車も免許制度にする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 四輪同様、免許制にする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入・点検時に伝える。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 罰金を取る。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 免許制。